

被覆金属管、合成樹脂管、ケーブルの防火区画貫通部耐火措置部材

IRC-NK 耐火キャップN (乾式壁用)

取扱説明書

国土交通
大臣認定

PS060WL-0467 (中空壁)

PS060WL-0482 (片壁)

PS060WL-0602 (中空壁) (硬質塩化ビニル管・被覆硬質塩化ビニル管専用)



- 作業時には、軍手、手袋などをご使用ください。
- 屋外でご利用の場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。
- 認定書をご熟読の上、施工してください。
- PS060WL-0602工法は、IRC-75NK、100NKのみ適用されます。
- 厚さ80mm以上の壁、または42mm以上の片壁(Sウォール[®])に適用されます。
(PS060WL-0602工法は、厚さ95mm以上の壁に適用)

(※Sウォールは吉野石膏株式会社の商標です。)

- サイズ選定の際には、占積率及び金具最小内径を共に満たすことをご確認ください。
- 配管の占積率が19.5%以下の場合、NKが不足する場合がありますので、ワンサイズ小さい貫通穴を開けてください。
- 中空壁にご利用の場合は、スリーブ(当社製品EZSなど)が別途必要です。

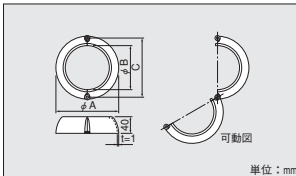
仕様



■ セット内容

記号	部品名	材質	数量
A	耐火キャップN金具 (乾式壁用)	SGC	1
B	コンクリートタッピングビスM4×25L	ユニクロ処理鉄材	2
C	熱膨張性耐熱シールIP	耐熱シール	寸法表参照
D	乾式壁用パテNK	耐熱シール	寸法表参照
E	取扱説明書	—	1
F	国土交通大臣認定シール	—	1

※部品B,Fは同じポリ袋に入っています。



■ 寸法表

型番	適合貫通穴呼び径(穴径)	寸法(mm)				パテ数				梱包
		φA	φB	C	φD	IP-S (0.4L)	IP-L (0.5L)	NK-1.5	NK-2.5	
IRC- 75NK	75(φ 85)以下	127	82	118	45	1	0	1	0	8
IRC-100NK	100(φ110)以下	152	107	143	65	0	1	0	1	
IRC-125NK	125(φ135)以下	178	133	169	85	2	0	1	1	
IRC-150NK	150(φ160)以下	203	158	194	105	0	2	0	2	

適用配管及び収納力表

(単位: mm)

国土交通大臣認定番号	配管種類	1本あたりの最大サイズ	占積率
PS060WL-0467 PS060WL-0482	金属管	被覆外径φ96 (金属管φ53.98、被覆厚20)	61.6%以下
	硬質塩化ビニル管	被覆外径φ53 (硬質塩化ビニル管φ32、被覆厚10)	
	被覆硬質塩化ビニル管	外径φ22、厚さ1.2	
	可とうポリエチレン管	外径φ37、厚さ6.0	
	断熱ドレンホース	導体総断面積114mm ² 、外径φ25 (CV38mm ² ×3C相当 IV,VVF等)	
PS060WL-0602 (注)	ケーブル*	導体総断面積114mm ² 、外径φ25 (CV38mm ² ×3C相当 IV,VVF等)	54.3%以下
	硬質塩化ビニル管 被覆硬質塩化ビニル管	被覆外径φ81 (硬質塩化ビニル管φ60、被覆厚10)	

※被覆とは、ポリエチレンフォーム、難燃ポリオレフィンフォーム、ポリスチレンフォーム、硬質ウレタンフォーム、フェノールフォーム、合成ゴムフォーム(ニトリルゴム、スチレンゴム、クロロプレンゴム、エチレンプロピレンゴムなど)グラズール、ロックウールなどを指します。

※金属管とは、銅管、鋼管、ステンレス鋼管などを指します。

※可とうポリエチレン管とは、ドレンホースDHなどを指します。

※貫通穴径、配管外径から占積率を考慮してサイズ選定されているかを確認してください。

(注) PS060WL-0602工法は、IRC-75NK、100NKのみ適用。

*ケーブルのみを貫通させる場合は、弊社ケーブル用防火製品をご使用ください。

因幡電工事業部

因幡電機産業株式会社

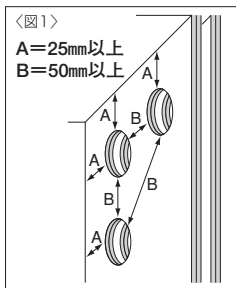
札幌営業所 (011)209-1784代 / 神奈川1・2課 (045)470-1780代 / 広島営業所 (082)545-1132代 / 東京推進課 (03)5783-1721代
 仙台営業所 (022)293-1785代 / 名古屋営業所 (052)541-1780代 / 九州1・2課 (092)525-1782代 / 名古屋推進 (052)541-1780代
 関東営業所 (048)642-1783代 / 金沢営業所 (076)262-1783代 / 広域1課(大阪) (06)4391-1713代 / 大阪推進課 (06)4391-1941代
 首都圏1課 (03)5783-1723代 / 近畿1課 (06)4391-1940代 / 広域2課(東京) (03)5783-1722代 / 福岡推進課 (092)525-1782代
 首都圏2課 (03)5783-1724代 / 近畿2課 (06)4391-1732代 / 仙台推進課 (022)293-1785代 / 海外販売課 (06)4391-1920代

①貫通穴開口

穴間ピッチを考慮の上、製品サイズに適合した貫通穴を開孔してください。

<図1>

- ② 耐火キャップN金具（乾式壁用）は開閉構造になっているため、作業スペースには余裕を取ってください。
- ③ 適合貫通径はP.1をご参照ください。

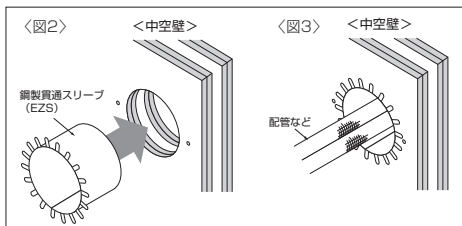


②スリーブ挿入

中空壁の場合は必ず壁厚幅のスリーブ（厚0.25mm以上（当社製品EZS））などを挿入してください。<図2>

片壁（Sウォール®）の場合は不要です。

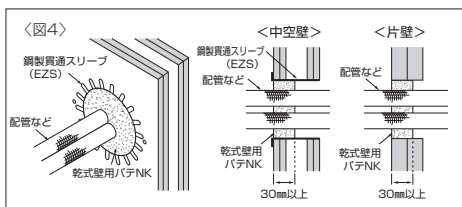
③配管作業 <図3>



④スリーブ内へのNKパテ充填

付属の乾式壁用パテNKを必ず先に開口内へ均一に30mm以上充填します。

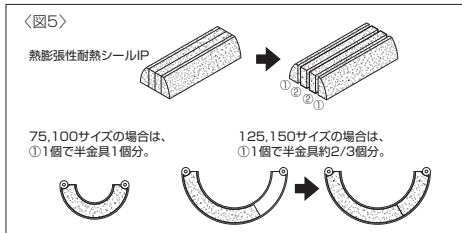
配管のあいだにもしっかりと充填してください。<図4>



⑤金具へのIPパテ盛り

耐火キャップN金具（乾式壁用）に対して付属の熱膨張性耐熱シールIP①を図のように取付けてください。<図5>

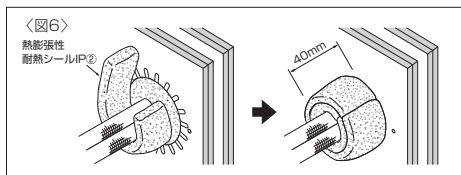
- ② 75,100サイズの場合は、①1個で半金具1個分。
- ③ 125,150サイズの場合は、①1個で半金具約2/3個分。



⑥配管へのIPパテ盛り

配管に対して付属の熱膨張性耐熱シールIP②を図のように壁面から高さ40mmになるように最大適合貫通穴径まで1周以上巻き付けて、盛付けておきます。<図6>

- ③ 配管のすきまにもパテが密着するように注意して、充填してください。

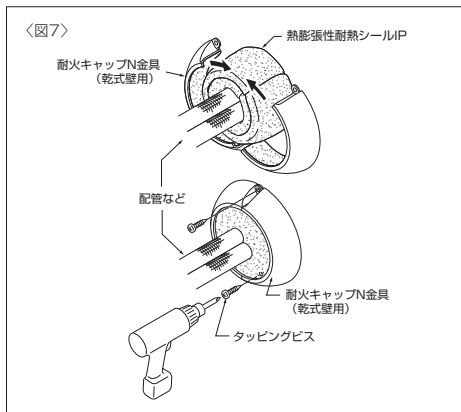


⑦耐火キャップN金具（乾式壁用）の取付け

耐火キャップN金具（乾式壁用）の金具を開き、配管にはめ込んで、付属のコンクリートタッピングビスで取付けてください。

<図7>

- ② ビス止めを金具のヒンジ側から行えば（反対側の穴は少し大きい）取付け易くなります。
- ③ コンクリートタッピングビスを締め過ぎますと、空回りの原因となりますので、注意してください。



⑧仕上げ

残りの熱膨張性耐熱シールIPをすべて金具内部に充填し、金具に面一になるように仕上げて完成です。<図8>

- ② 配管周囲を押し過ぎると、乾式壁用パテNKが裏側にはみ出して落下する恐れがありますので、金具内部へ押し広げる要領で仕上げてください。
- ③ IPが不足する場合には、別売の熱膨張性耐熱シールIPを別途ご購入ください。

